

## ●古市博士授爵聯合祝賀會記事

本會前會長古市博士は大正八年十二月功績に依り男爵を授けらる博士は工學者にして授爵の恩典に浴せられたる最初の第一人者として尤も光榮とせらるゝ所なると共に我が土木工學界の名譽として慶賀せざる可らず故に工學工業に關する十四學會聯合して去る四月二十四日小石川植物園に於て授爵聯合祝賀會を催せり定刻に至り古市男爵は夫人と共に參會せらる午後二時半式は開かれ滿場拍手の中に石黒委員長は起立して左記開會の辭を述べ

今回古市博士が授爵の光榮に浴せられました爲に工學工業に關係の十四學會即ち之をイロハ順に申せば日本鑛業會、日本鐵鋼協會、土木學會、火兵學會、暖房冷藏協會、造船協會、建築學會、工學會、工業化學會、帝國鐵道協會、電氣學會、電信電話學會、機械學會、並に照明學會の各會が申し合せ聯合して祝賀會を開く事になりましたので御病後御迷惑とは存じましたが御出席を願へやうかと尋ねました所御快諾下され御出席に相成り今日此祝賀會を開く事が出來而して私が茲に開會の辭を述べます事は私の殊に欣喜とする所なるのみならず且つ光榮とする所であります

抑も古市博士は明治二年に一ツ橋外の開成所に入られ(元と護持院の跡で護持院が原と稱し今の東京商科大學の在る所であります)佛學を學ばれました其開成所は夫より大學南校となり更に第一中學校となり次で開成學校となつたが終りに之を本郷の今の東京大學の位置に移され東京大學法理文三學部と稱せられ今日の大學の元になつてあります博士は在學中明治三年十月藩の貢進生となり明治八年七月文部省から佛國留學を命ぜられて「エコール、サントラル」に入り十二年八月佛國農商務省から「アンジエニエル」の學位を受け更らに「フツカルチー・ヅ・シャンヌ・ヅ・ユニバルシチー・ヅ・パリ」に入つて理學を修め十三年七月同國文部省から「リッパンシエ」の學位を受けられ同年十月歸朝され同年十二月内務省土木局雇を拜命せられ翌十四年准委任御用掛となり同十七年内務三等技師に任ぜられ夫から漸次昇進して同二十三

年六月土木局長に任ぜられましたが同卅一年七月に辭任せられました此内務省に在職中に明治十九年五月から同二十一年十一月迄と更に同二十二年十月から同卅一年七月迄と前後通じて十一年餘は又工科大学長をも兼任せられました工科大学は明治十九年文部省所管の東京大學と工部省所管の工部大學校とが合併致しまして東京帝國大學と改稱致しました際其一分科大学とし設立せられたので當時從來の所管の關係上此工科大学長に新任せらるべき人の人選に就ては頗る採めたのであります但最终に吉市博士の就職を見るに至つて幸に何等の障礙をも見ず敎職員融和協力してよく圓滿なる發達を遂げ工業教育の基礎を確立する事が出来たのは君の力に由る所が多いのであります

又明治十三年君が土木局へ就職せられてから其退職迄十八年間に我國の土木事業並に土木行政の爲に盡された功績の一斑を申しますれば抑内務省に於て河川工事を始めましたのは明治七年五月澱川の改修に着手したのを手始めと致し夫れから段々各川の工事も起して明治十八年六月迄には十四大川の工事に着手致しましたが其初に於ては是等の改修工事の設計は和蘭の「ヴァントールン」氏など云ふ凡て外國から傭聘して來た技師の手でやつたものでありますでしたが君が職を土木局に奉じてからと云ふものは漸次之を我國の技術者の手に收めるに至つたのであります十四大川工事の施行を見るに方つては君は其中の阿賀、信濃、庄の三大川の工事監督を分擔せられました

其時分又各府縣で水害復舊工事を施行するに際して國庫補助として支出せられる金額が往々にして徒らに多額に上る弊がありました但し此弊を除く爲に技術官をして水害復舊工事を検査させる事になつたのは是れ君が建議に基いたものであります

明治二十一年十一月山縣内務大臣が歐洲巡回の途に上らるゝに際して君は其隨行を命ぜられて歐洲諸國に於ける土木工事及其制度を視察して歸られ其結果本邦土木行政の爲めに貢獻せられた所も尠くないのであります

君の土木局長在職中には又重大なる土木上の問題が尠からずありましたが就中濃尾震災の復舊工事の如き又横濱築港埠頭龜裂問題の如き大阪築港の如き其他各地水害復舊工事に關する件等孰れも帝國議會の問題となつたのであります君

は其間常に政府委員として其の衝に當り盡力された所尠くないのでありまして君が其政府委員たりし事は内務省所管に於て八回遞信省所管に於て四回韓國統監府所管に於て一回合計十三回政府委員として起られたのであります

又本邦の治水事業の基礎確立に關係ある河川法の制定に關しても君の力與かつて尠からざるものがあります

次て遞信次官、遞信省總務長官等を経て鐵道作業局長官京釜鐵道總裁、韓國統監府鐵道管理局長官等に任ぜられました其遞信省に在職中明治卅三年には所謂北清事件があつて軍事上に關する遞信事務に就いて君が畫策せられた所も亦尠くなかつたのであります鐵道作業局長官から京釜鐵道總裁に轉ぜられたのは明治三十七年帝國が露國と事を構へるに方つて京釜鐵道の速成は軍事上より國家の安危に重大なる關係を及ぼす事になりますので其主腦たる總裁其人を得るに却々困難致しましたが當路の切なる勸誘によつて君は敢然意を決して此難局に當られたのであつて其苦心は實に名狀す可からざるものがあつたとの事でありまして君は此の所謂命懸の事業に於ても能く經營を誤らず着々効果を收めて軍事上に幾多の便益を與へられたのでありまして即ち彼の卅七八年事件が我國に光輝ある戰捷を與へた原因には此京釜鐵道の速成をも其の一に數へざるべからざる事と思ひます

次て君は統監府鐵道管理局長官に任ぜられて戰後の朝鮮鐵道統一に關して亦非常な苦心を以て盡力せられた事でありま

す  
以上主として君が在官中本務に係るもの、功績の唯其の一斑に就いて述べたに止まりますが此他市區改正委員、土木會委員、港灣調査委員、鐵道會議々員、教育會議々員等として又鐵道事件、鐵道國有、議院建築、廣軌鐵道等の諸問題に於ける委員として又第三乃至第五回内國博覽會に審査部長として又製鐵事業調査委員長として其他各種の委員評議員として又顧問或は囑託として我國の工業に關する事務に執筆せられた功績も尠くないのであります

帝國學士院會員としては明治卅九年以來會員に列して現今では第二部長であり又最近には理化學研究所長の職に就いて本邦科學の發達に貢獻せられつゝある所尠からず貴族院議員としては初期以來議席を有して今に至るまで約三十年其間

國家に貢獻せられたる所亦尠からず又東亞興業會社創立に際しては時の總理大臣桂公爵外務大臣小村伯爵の依囑によつて其社長となり日支兩國の關係上多大の貢獻をせられ當時僅かに一百万圓の資本を以て成立したるものが今日見るが如き擴張發展を見るに至つたのも亦君の功績として忘る可からざるものでありをす

其他工學會の幹事、副會長、會長としては約三十二年間同會の爲に盡瘁せられ又工手學校管理長としては明治卅四年以來約拾五年間勤績せられて國家富強の基たる工學及工業の發達並に其要素たる技術者養成に盡瘁して來られた功績も亦没す可からざるものであります

斯くの如き功績ある古市博士の事でありますので宮中に於かせられて此功績を御認めになり政府當局に於ても勿論之を認められて今回男爵を授けられましたのは實に喜ばしい事でありまして國家と共に之を祝せざるべからざる次第と信じます

我國には元と士農工商と申しました事がありまして之れに起因したる譯でもありますまいが今日迄の處を見るに士に屬する陸海軍々人を始めとして法なり文なり醫なり又た商に屬する者までも授爵の恩典に浴せられたる者少からず然るに獨り工に屬する者のみには未だ其の事なかりしは甚だ遺憾千萬と考へて居りましたが是は工學なるものが賤學と申す譯でもありませんまいし又た其の人なき故にもあらざりしならん今日迄授爵の事が無かつたのは實に遺憾とする所でありましたが今回始めて此事がありましたので殊に古市博士御一人のみか其後二人迄も同じく授爵の恩典に浴せられたる者ありたるに係らず昨年十二月廿六日に於て特に御一人のみ授爵されましたのは博士の御名譽此上なき次第でこれ獨り博士の御名譽のみならず又た我が工學界の名譽であつて大に誇とする所であります爲めに諸君と共に今日大に祝賀すべき事であると思ひます終に臨み尙ほ申上げますのは男爵には御自愛の上御健康を保たれ益々國家に御貢獻あらん事を願ふ次第であります私は之を以て今日の祝典に於ける開會の辭に代へ而して諸君と共に男爵の御健康を祈るものであります次に工學博士曾淵達藏君演壇に上りて十四學會總代として左の賀詞を述べ

## 賀詞

吾が工業界に於て最も尊敬する所の工學博士古市公威君舊服特に華族に列せられ勲功に依り男爵を授けらる洵に博士御一家の光榮名譽たるのみならず我等の學會協會も亦延いて其餘榮に浴するを得たり此に於て我等工學に關係ある學會協會十四團體は本日の吉辰を卜し博士を招聘し授爵祝賀會を開き不肖會禰達藏團體一同を代表し賀詞を呈するの光榮を有す

博士は我國土木界に於ける先覺者にして亦其權威たるは世の周く知るところなり加ふるに其學識材幹共に時流に超絶し衆望自ら歸す實に全工學界の泰斗と謂ふべし而して博士の經歷を顧るに常に樞要の地に立ち工學の教育及工業の行政乃至施設に至るまで殆ど博士の關與せざるはなく關與すれば必ず誠心誠意之に當り時に身命を賭して其實効を擧げずんば止まず其國家に貢獻するところ極めて大なり是を以て朝野の信賴歳と共に加はり德望一世を蓋ふ宜へなり朝廷亦其叙功を認められ榮爵を授け給ふ

惟ふに我國運の隆昌其基つくところ多々ありと雖工學工業の發達は其一大主因たりと斷言するを憚らず然るに世は却て法律經濟政治軍事の類をのみ謳歌し久しく工學工業を等閑視せるの憾ありたり近時漸く覺醒して稍其狀態を改め殊に歐州戰亂の影響に鑑み爾來著しく之を重要視し來り進んで之が向上を促がすに至れるは邦家の爲め寔に慶賀に堪へざるなり此時に方り博士の授爵あり我等は此恩命の寧ろ晩かりしを感ずるものなりと雖而も斯學斯業一層發展の徵として欣喜措く能はざるところなり蓋し博士の如き工學界の元勳人格崇高の偉人を顯彰せずして將た誰れをか顯彰すべきや

本日祝賀會の招聘を容れ公私多用なる博士の來臨を忝ふせしに拘はらず供するに粗酒粗肴を以てするは汗顏の至りに堪へず幸に我等滿腔の熱誠を諒として半日の歡を盡さるゝを得ば我等一同の本懐之に過ぎざるなり

大正九年四月二十四日

- 日本鐵鋼協會
- 土木學會
- 火兵學會
- 煖房冷藏協會
- 造船協會
- 建築學會
- 工業學會
- 工業化學會
- 帝國鐵道協會
- 電氣學會
- 電信電話學會
- 機械學會
- 照明學會
- 會 禰 達 藏

右總代 工學博士

祝辭

次に山川男爵演壇に現はれて左の祝辭を讀む

東京帝國大學名譽教授工學博士男爵古市公威君奮職を以て叙爵の殊遇を授かり茲に其の祝典を舉げらる洵に慶事に堪へざるなり博士元と學識淹博器局高邁其の斯界に竭せる勳業の如きは既に世人の熟知する所なり今日の慶事ある良に以ありと聞ふ可し博士老いて益々壯其の齡古稀に垂んとするも尙ほ學問に事業に拮据淬礪孜孜として倦まず何を其盛なるや

切に慕くは益々康寧にして國家の爲に長く貢献する所あらんことを謹みて賀辭を陳す

大正九年四月二十四日

東京帝國大學總長 理學博士 男爵 山川 健次 郎

續いて寺野東大工學部長東大工學部職員を代表して左の祝辭を讀む

### 祝辭

吾人の最尊敬する古市先生が此度我國家に貢献せられたる功績に由て特に華族に列せられ男爵を授けられたることは吾人の歡喜措く能はざる所であります先生が我國工業界の元勳として數十年一日の如く斯界に貢献せられたる偉大なる功績は夙に世人の具瞻する所て今更之を説くを要しません殊に先生が我が最高學府に在て工業教育の基礎を確立し學術の進歩を圖り多數有爲の材を養成せられ又或は行政立法の府に於て或は公私各般の事業に就て常に顯著なる偉績を擧げて居らるゝことは天下周知の事實であります苟も其名東西に高く其徳内外に洽ねく上下の重望を負ふこと先生の如くにして何故に今日まで授爵の恩典に洩れて居たか寧ろ怪訝に堪へぬ思がありましたが生が今にしてこの事あるは當に到るべき處に到つたかの觀があります思ふに身を學界に起し其學識を以て國家に貢献し終に皇室の藩屏となつた者は法理醫文の學界に於ては必しも珍らしくありませんが獨り工學に關しては由來絶無でありました然るに今や先生が其第一人としての光榮を得られたのは畢竟我國家が漸くにして工業の重要なることを認め斯界の元勳に對して其酬ゆべきものを酬わられたので吾人工學に志す者聖恩の優渥なるに感激禁せざる次第であります吾人は今後先生が益々健康を保たれ我工業の爲社會の爲更に又我皇室の藩屏として我が天壤無窮の國體の精華を發揚せんことに努めらるべきことを信じ茲に東京帝國大學工學部職員に代つて謹て祝詞を呈するのであります

大正九年四月二十四日

寺野 精 一

次に京都帝國大學教授工學博士田邊朔郎君の左の如き祝辭演説あり

古市男爵祝賀會に於て

今日は此目出度場所に於て其席末に列するの榮を得ましたに就ては爰に一言の御祝辭を呈し度と存じます

古市男爵の功績に至つては我々の喋々を俟たない世間周知の事でありますが其功績が又實に比類稀なるものであります何が故に比類稀なるものであるか工學を基礎としたる工業が人類に裨益を與へた事は略史あつて以來の驚く可き事績であります

旬日を費したところの京都江戸間の普通の旅行に於てさへも日程大井川を越に相當するときは陰膳を据て其安全を祈つたものであつた急行する場合は全く生命掛であつた其旅行が今や一夜夢煖かに往來することが出来る幾千里相隔つてある處の間に於ける通信は瞬時に誤なく傳へられ千萬年の間無駄に流れて居つた山間の流水が水力電氣となつて人類に燈火動力を與へ或は空中より肥料を取り或は腐朽せざる様に多量の食物を保存せしめ或は鑛物の豊富なる供給を與へ陸に安全愉快なる往居を作り海に安全迅速なる通路を與へ人類の夢とのみ思ひ居りし空中の飛行を完成し戰時に於ては工學工業の進歩したるものが終極の勝を征することとなるは今や説明を要する迄もなき明白な事實であり通信運輸の速にして偉大なる力は人類の知識を傳播するに非常なる效力を有するのである斯の如き廣大なる事業は後世より之を望み見れば其功德の光り燦として實に目映き迄に光り輝くてあらうと思ふ

平の清盛が相國であらうと源頼朝が六十六國總追捕使であらうと但しは北條氏が執權職であらうとも後世から見れば何の差も少なき事であるが古市男爵を先達として我々の作りつゝある略史は實に比類稀なる立派なものであります然るに今や榮爵を受けられた古市男爵が若し他の職格を取つて居られたならば今少しく早く同じ榮譽を得て居られたらうと思はれます

さあ何が故に此驚く可き功績あるに關はらず工學であつたが爲めに榮譽後れたんであらうか之は説明をなす必要がある僅に五十年百年を保つにさへ困難である此肉體の所有者たる我々に於ても飲んだ藥が效を顯はし養生をした効果が顯は



れ来るには幾分の時日を要するのである況して何千年何万年を繼續する我々人類に於ては功績あるものが感謝さるゝ迄には幾分の時日を要するのである

現今歐米の強國に於て歴然として爵の存在することを得て居るのは英國でありますから爰に英國の事を少しく述べて見度と思ふ

誠に「エンサイクロペヂヤブリタニカ」を編てジョンソンニーと云ふ姓名を見れば幾多の有名なる大事業を成し就けた有名なレンニーはナイトとされて居らずして其功績のより見劣する其子息のレンニーはナイトとされて居るのは何か故であらうか氏は其父の功によつて榮を得たるものではありません近年榮譽を得易くなつたのであります英國に於てはポストユーマスオノールは殆んど皆無であります若しあるならば蒸氣機關に於けるワット鐵道に於けるステベンソンの如き何とか追賞されねばならんでありますよしが英國には其事はあまりありませんが我邦にはあります

グラスゴー大學内を流るゝ溪流に因んでロードケルピンとなりしトムソン氏あるが如くランキン先生の如きは工業が其學問を基としてクライド河より流れて世界に廣がつた事を思へば其子孫はビーヤとなつてロードクライドとても稱せらるであらうがポストユーマスオノールは英國にありません又ランキン先生も今少しく長命であつたなら榮爵を得て居られたらうと思ふ

當時ランキン先生より遙に見劣する他の政治界の人にして榮譽を得た人は甚だ多いのであります但し近頃では英國に於ても相當な事業を成した人々は凡ての方面に於て相應の榮譽を得て居ります

我々其の作りつゝある略史前に述べた通り其最も驚く可き光輝を發して來たのは最近の一百年間でありませう後世から見れば平家や源氏や北條氏の作つた略史とは其類を異にし人類を潤ふす其功德榮として光り輝くものであるに關はず其榮譽に浴することの遅るゝは現世に於て不得已自然の勢である然るに今や其光が顯はれ始めて來たのである又我國に於ては有難き事にはポストユーマスオノールがある故に又父祖の功によつて榮爵を授けらるゝ工學工業家もあるであらうし

又死後追賞さるゝ人もあるであらう

斯の如くに論じ来れば古市男爵御祭爵に浴さるゝこと他の御職務でありしよりも遅延したてはありましようが此驚く可きヒストリーメーカーの先驅たるに於ては或は他にあつて束の中に混入せられてあるよりも更に大なる御名譽であると信じます

爰に謹て御祝辭を述べます

大正九年四月二十四日

田 邊 朔 郎

田邊博士の演説終るや古市博士は徐かに起つて左の如き挨拶を述べられたり

答 辭

昨年の九月バーミングハムでジェームス・ワットの百年祭を舉行致しましたが其節佛蘭西のアカデミー・デ・シヤンスからラトリー氏を代表者として列席させました其時のラトリー氏の演説を雜誌で見ましたが其中にラトリー氏は斯う云ふ事を云ふて居ります

フランソワ・アラゴが或る日或る英人に向つてワットは實に立派な人物であるが何故に彼を貴族にせぬか由來貴國は貴國の大人物を旌表して他國に向つて之を誇る習慣であるのにワットに對する貴國の處置の如きは諒解に苦む所であると問ふた所が其英人の答へて云ふのにイヤ我國ではワットの如き人を貴族にする事は流行らぬ貴族になる人は軍人か然らざれば議院に於ける有力の雄辯家であるとは是に於てアラゴ曰く今に御覧なされ他日シヤンス・ド・ラ・デストリクシヨ(破壊の學術即ち軍人を指したものと云ふ)がアルド・ラ・ペー(平和の藝術)の前に屈服する日がありますよ國家の實力を増し一般の福利を進むる事を以て任務とする者が社會から優遇されぬと云ふ事は道理に於ても亦常識から見ても有り得べからざる事であると此事はアラゴの著書の中にある筈で多分アラゴはワットの傳を書いて居りますから其中にある事であらうと思ひますが實はまだ私が讀んだ譯でありませぬから聡とは申上げられませぬをこてラトリー先生は此アラ

ゴの言を引いて而して後斯う云まで居る今日はワットの時代とは事情が違ひ貴國に於ては陸海軍人及政治家の功績を決して忘却せられないと共に學者技術者等の功績をも屢々旌表して之に酬むる是は我々の感嘆措かざる所であると斯う云ふて居ります

玆今日私の爲に斯かる盛會を催されました事は之を單に私の過般拜受いたしました恩命に對する祝賀と見ますれば私にとりましては分に過ぎたる事で恐縮至極に存じます又先程から諸君の祝辭も私に於ては敢て當らぬ所で所謂溢美でありませんかと思ひます實は私は此御計畫の初に當つて御辭退致さうかと思ひましたのでありますけれども又退いて考へて見ますると此會は單に私の拜受いたしました恩命に對してのみと云ふのでなく更に他の意味あるものとする事が出来ると思ひましたので遂に御受けを致した次第でありますので即ち此會は又之を工業に對する一つのマニフェスタシヨンとも見る事が出来ると斯う考へたのであります工業果して祝賀すべきかと云へば固より然りと答へて宜しい工業の興廢は國家の盛衰の分れる所と云ふ事は昔から誰も異議の無い事ではありますが今日では最早工業の興廢は國家の盛衰どころではなくして國家の存亡に關する一般に人が認めるに至りました即ち工業の任務は一層重きを加へました此工業に對して祝賀會を開くは當然の事であり現に先達の戰爭は工業の戰爭だと云ふ程でありまして殊に西洋の某々國では職工が今度の大戰爭に勝つたのは全く我々の力であると稱して社會に向つて其地位の向上を要求して居ります單に斯く申したのみでは尙大に論議すべき點があると思ひますが併し幾分の眞理は含んで居るものと存じます又近頃聞く所に據りますと佛蘭西では大戦後參謀本部高等司令部軍事參議官等の組織職權等に就いて研究中であるが其中軍事參議官に工業界の大家を交へる必要があると云ふ論があります即ち工業は平時のみならず戰時に於ても必要である平時に於ては一般の福利を増進するの具となり戰時に於ては更に又國を護るの機關となるものであると云ふ考が世界一般に起つて來たものと思はれます即ちフランソワ・アラゴの豫言が丁度形を變へて實現して來たのであります尤もシアンヌ・ド・ラ・デストリュクシヨン(破壊の學術)がアール・ド・ラ・ペー(平和の藝術)の前に屈服した譯ではない又シアンヌ・ド・ラ・デストリュ

クシヨンをアール・ド・ラ・ペーの前に屈服させる必要もないが確かに對等の地位に立つて握手するに至つた夫れて宜しいのであります工業が此地位に達したといふ事は實に祝すべき事て此意味に於て私は工業の爲に大に祝ふが宜いと思ひます即ち言ひ換へれば今日の此祝賀會は私の頭の上をツーと通り抜けて遙か上空に鎮座して居る我々の本尊工業なるものに向つて發表されたものと見る事も出来るのであります此意味に於ては私も諸君と共に萬歳を唱へて宜いと思ふので是れ即ち私の此祝賀會の御受けをした次第であるのです

然らば此祝賀を私が受けぬのかと云ふと勿論諸君の御厚意に對して左様な失禮な事はせぬつもりであります即ち工業に對して發表された諸君の祝賀の御流れは拙者が頂戴するのであります(斯く云ふと拙者が工業を代表して居るかの如く聞えるかも知れませんが私が左様な不埒な考を毛頭持つて居らぬ事は諸君も御諒察下さる事と存じます)是れを私は實に非常な光榮と思ひます故に今日の此會の事は家の記録に存じまして永く子孫の記念と致しまするつもりであります茲に私は衷心から諸君に感謝致します

古市博士の挨拶するや加茂正雄博士式場係として參會不能諸君より寄せられたる祝電を披露せられ是を以て式を終り一同池畔に出て、大熊博士の斡旋により記念撮影を爲し開宴となり歡談の中濱尾男爵は起つて先づ古市博士が學者としての功績を詳述せられ工部大學と帝國大學との合併當時に於ける難關の四滿に解決せられたるは博士の學識によるものなりとし理化學研究所亦博士に負ふ所大なるを述べられ更に博士が行政官としての功績の尋常ならざるを賞して授爵の當然なるを力説せられ杯を擧げ一同を促して自ら音頭をとり古市博士の萬歳を三唱せらる次に九大總長工學博士眞野文二君起つて左の如き卓上演説あり

古市博士授爵祝賀式席上に於て

私が古市男爵閣下に始めて御目に懸りましたのは明治十九年と記憶致します其後海外留學を命ぜられ明治二十二三年に歸朝致しまして以來閣下には或は工科大學長として或は學會長として博覽會の審査部長として或は種々の調査委員長と

して三十有餘年間常に御指導を下されました私は古市博士の講義を講堂に於て聴きました譯ではありませぬが常に御教導に預りまして御講義を受けたも同じ感があるのであります私の同僚でありました故ツェスト教師の常に申されました言葉で觀圖室にて指導することは Continuous Lecture 連続せる講義なりと私は三十年間古市男爵の Continuous Lecture を受けたと同様であります隨て博士今回の男爵の御授符は恰も弟子が其師の立身出生を喜ぶの感を以て御祝ひを申上るのであります

博士の御功勞に就ては既に石黒寺野博士又濱尾男爵閣下より十分御陳述になつたこととありますから此上蛇足を添ふる要はないのであります先程より御話しが出ました事につきまして思ひ起しますのは八幡製鐵所のこととあります同製鐵所が一時頓挫しましたときに調査委員が出来ました古市博士は委員長として大いに盡力されたのであります此席に當時の委員も御見えに成つて居りますが委員會の議論は中々の激論で種々困難のこともありました古市委員長の御骨折て無事に調査報告が纏つたのであります今回の大戦に於て製鐵所は偉大なる功果を擧げましたが其の功績の大部分は古市博士にあると申しましたも過言に非ずと信ずるのであります是は唯一委員會のことを申上げたのであります但し他の委員會の御功勞も亦同様或はより以上であることは申迄もありませんが際限もないこととありますから茲に止めます最後に今回祝賀會の通知書は六千通以上も出て居ることとあります私は幸ひ上京中で本日出席することを得ましたが出席出来ざるものが全國に散在し遙かに此席に祝意を寄せて居ることゝ存じます

今日は非常の盛會であります此席以外に尙數百人數千人御祝ひを申上げて居る人のあると云ふことを御承知になりましたら古市博士に於かせられましても御喜びのことゝ存じます就ては此等の人々の代表と申しますと甚だ僭越になりませんが其人々の意志を忖度致しまして茲に今日の御喜びを申上ります

眞野博士の演説了つてラサ燐燐株式会社技師谷井鋼三郎氏の祝辭あり古市博士更に起つて鄭重なる感謝の挨拶ありたり時に三時二十分一同庭前に於て記念撮影をなす

次で一同立食の饗應を享く宴半にして濱尾男爵立つて古市男爵の功績を縷述せらる又九州帝國大學總長眞野博士は古市男爵の知友門弟の地方在住者を代表し祝詞を述べられたり四時半盛會裡に散會せり當日出席者三百餘名にして皆各學會協會員中男爵に知遇ある諸名士なりき